

# インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ：行動指針

## 1 背景

- 「インド洋・アフリカ経済圏」（インドからアフリカ全土にわたる地域）は、世界平均を上回るペースで成長を継続。特にインド、サブサハラアフリカの伸びが著しい。
- アフリカは、  
急激な人口増（2050年には約25億人、特に若年人口の伸びが顕著）  
豊富な鉱物資源（銅、コバルト等）  
巨大な消費市場（「アフリカ大陸自由貿易圏」（AfCFTA）が実現すればGDP3.4兆米ドル、約15億人の単一市場）  
を背景に、将来的に世界経済を牽引する潜在性あり。
- 近年、アフリカ向け経済における、中東（湾岸諸国等）、インドの存在感が増している。

## 2 基本的考え方

- 「インド洋・アフリカ経済圏」において、インド、中東諸国といったインド洋諸国と協働し、アフリカの域内統合や産業発展のための取組を推進する。
- そのために、アフリカが掲げる優先事項に寄り添い、アフリカ各国やインド洋諸国との共創・協力の取組を推進していく。
- 「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）のビジョンの下での取組と位置づけ、我が国とアフリカ等グローバルサウス各国との関係強化を図るとともに、インド洋諸国からアフリカとの貿易・投資市場を目指す日本企業の取組を支えていく。

## 3 取組の方向性

- （１）** インド洋諸国との協力強化
- （２）** インド洋・アフリカ経済圏の連結性の強化
- （３）** 共創・共業を基礎とした域内産業の発展と雇用創出

# インド洋・アフリカ経済圏における日本の主な取組

